

県民等からいただいたご意見・ご提言

環 境 (118 件)	1
温暖化 (53 件)	森 林 (15 件)	
水・大気環境 (7 件)	自然環境 (12 件)	
廃棄物 (10 件)	環境保全活動 (5 件)	
景 観 (7 件)	農山村の多面的機能 (9 件)	
産業・雇用 (272 件)	6
ものづくり産業 (42 件)	観 光 (97 件)	
農 業 (59 件)	林業・木材産業 (10 件)	
建設業 (12 件)	商業・サービス業 (10 件)	
ブランド (23 件)	雇用・労働環境 (19 件)	
医療・福祉・安全・安心	(184 件) 16
健 康 (12 件)	医 療 (25 件)	
子育て (28 件)	高齢者福祉 (27 件)	
障害者福祉 (12 件)	地域福祉 (9 件)	
社会援護 (8 件)	治山・治水・砂防 (11 件)	
防 災 (30 件)	治 安 (2 件)	
交通安全 (14 件)	食品・医薬品等の安全 (6 件)	
教 育 (109 件)	23
学校教育 (77 件)	生涯学習・青少年 (12 件)	
芸術文化・地域文化 (11 件)	スポーツ (9 件)	
地域・人権・協働・社会基盤 (144 件)	27
地域活性化 (24 件)	NPO・ボランティア (2 件)	
男女共同参画 (3 件)	国際化 (5 件)	
農山村 (27 件)	都市環境・住環境 (25 件)	
高速交通ネットワーク (16 件)	道路ネットワーク (19 件)	
公共交通ネットワーク (18 件)	情報化 (5 件)	
県政の推進 (100 件)	32
基本目標 (197 件)	36

区 分	合計（件）
県民意見募集（平成 23 年 1 月 18 日～ 6 月 30 日）	703
職員提案（平成 23 年 2 月 10 日～ 3 月 31 日及び新規採用職員）	421
合 計（件）	1,124

新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等
温暖化	生活の質を見直し、消費エネルギーを50%減にした心豊かな生活を信州から世界に発信する。
	むやみに電化生活に走らず、50年前に戻る努力をゲーム感覚でできると良い。
	先進国の責任として現在の大量消費型ライフスタイルを超える、新たな環境配慮のライフスタイル・マインドの地域からの提案・実践
	重点課題としての温暖化に対する危機意識の醸成と徹底した対策
	様々な啓発活動を行い、エネルギーの効率的な利用を心がけてもらえるようにする。
	上高地のように車の乗り入れを制限する地域を増やしていく。
	鉄道網を発展させ自家用車の排気ガスを減らしていく。
	公共交通機関がもっと発達してくれば、マイカー通勤も減る。
	自家用車を使わず、バスをみんなで使用し、CO ₂ を削減する。
	自転車通勤を推奨したり道路の整備を行って自転車利用を促進し、温暖化を防ぐ。
	夜間星が見えるように、夜中の11時以降はネオンサインを消灯させるなど、照明制限をする。
	東京都のように事業所への規制を行うとともに、排出権取引をも制定する形でCO ₂ 削減に向けて取り組む必要がある。
	帰るときに県庁がものすごい明るいので、少人数であれば一箇所に集めるなどして節電して欲しい。
	電力確保を県としてどう考えているのか、そのビジョンを示す。
	高速交通網やダムなど従来の施策を資源エネルギー効率の視点から再検討
	限界がある資源エネルギー社会から脱却し、効率の高い社会を築く。
	自然を生かしてCO ₂ の削減をするなど、自然を利用したものに力を入れる。
	自然エネルギーへの移行
	自然を生かしたエネルギー政策に取り組んで欲しい。
	自然エネルギーの普及を望む。
風力や次世代エネルギーの利用など、エコ運動の促進	
自然エネルギーシステム、エコカーの導入により、環境にやさしい県づくりを進め、地球温暖化対策を進める。	
たくさんある山を利用して風力発電装置を増やし、発電した電力を街灯や信号機などに使い、余った電力は被災地に送る。	
火力発電所をできる限り減らし、水力、風力、太陽光、地熱発電を増やして二酸化炭素の排出を抑える。	
無散水消雪のように、地下水資源、地中熱の循環利用と、地中熱、風力、水力などによるクリーンな発電形態を推進する。	
果樹の剪定枝をペレットストーブや薪ストーブで利用。また、ペレット化したものを使った新たな火力発電システムの構築	
長野県の豊富な水資源を利用した電力の供給強化を図る。	

温暖化	自然にやさしい水力発電をもっと多くやっていきたい。
	林野や畑を利用した資材、再生可能エネルギー生産を強化したい。
	樹木から木質バイオマスエネルギーを得て、エネルギーの自給自足を目指す。
	県内の燃えるごみを集めて燃やし、その熱をエネルギー変換して利用する火力発電所をつくる。
	畜産業で排出される動物の排泄物を発酵させ、その過程で出る熱エネルギーを利用した発電システムの構築
	原子力発電はもうやめてください。
	原子力発電を廃止して火力、自然エネルギーにより代替するとともに、電力周波数の変換容量を増強し、将来の危機に備える。
	原子力エネルギーから自然エネルギーへ転換を図る。
	原子力発電所の事故により、自然エネルギーの重要さが増していることから、水力発電事業を継続して欲しい。
	全てを奪ってしまう原子力は即刻止め、新しいエネルギー（小規模）政策を求める。
	長野県は太陽光、風力、地熱に恵まれている。それらを生かすためにも規制緩和が必要
	小規模水力発電の促進のため水利権の規制緩和
	官民一体となって太陽光発電の普及に取り組んでみてはどうか。
	産学官の協働による次世代エネルギー、自然エネルギーの開発
	複数のシンクタンクや学術機関に依頼し、本当に太陽光発電がエネルギーコストにかなっているかの計算を行い、結果如何で大々的な産業化を行う。
	太陽光発電の普及と、冬は石油ヒーターに頼らず暖炉の普及を望む。
	太陽光エネルギー採用住宅への補助金を多くする。
	公共建築物の屋上全てに太陽光パネルを設置し、用水路には水車の小規模発電所を設置する。
	再生可能な自然エネルギー確保のためのインフラ投資を行う。
	県内の消費エネルギーは県内で創り出す。
	森と水による自然エネルギーを活用した、電気の地産地消を推進する。
	未利用エネルギーの利用を積極的に取り入れ、災害に強い市町村単位でのエネルギー産地となることを進めるべき。
	地域の自然再生エネルギーを地域で創出し地域で消費することのできる、生産圏と生活圏の共存した地域都市圏を構築する。
災害時の電源確保の観点からも各地域における電力の地産地消を目指すとともに、水力発電の電源地域補償として、電力会社より、緊急時における必要施設及び企業への優先的供給を取り付ける。	
今回の地震と原発事故による電力不足と原油高による火力発電コストの増大が懸念される。水力発電所の再評価をおこない、可能な限りの発電時自給を目指す。	
県内の市町村と首都圏内でのカーボンオフセットの促進	

森林	森林整備の重要性
	鳥獣被害減少や観光地としての利用のため、森林の整備に力を入れて欲しい。
	針葉樹と広葉樹が混生し、人と動物との共生、水源涵養、観光資源などに役立つ森林づくりをして欲しい。
	広葉樹と針葉樹のバランスの見直しや、間伐を行う担い手の育成など、多角・総合的に森林政策を行う。
	健全な森林。県有林、私有林の適切な間伐によって森林の多角的な価値を向上する。(水源、観光、材木、バイオマス他)
	環境保全は公が担うべきもの。森林整備を公共事業として増注する。
	無駄な森林伐採は絶対にやめて、資源を無駄にしないで自然を大切にする長野県を目指す。
	県内の自然財産である森林の日本国民による保全
	搬出間伐ばかりでなく、地域の状況を勘案した方法(保育(切捨て)間伐など)を採用し、間伐を促進して森林を保全する。
	森林づくり県民税を500円から1,000円にするなどして、森林づくりを活発に行う。
	森林税を個人からとるのを廃止する。
	外国人による森林購入に対し対応されたい。
	生物多様性と森林浴の科学的データを公表し、県の特性を強調していく。
	森林等の手入れを指導者とともに学校教育に取り入れる。
「森援隊」をつくり、2・3日のボランティアが集まる仕組みをお願いする。	
水・大気環境	長野県は日本の源で、森林を守ることでこの水の源を守ることが必要
	山と森を守って水を守る日本の水がめになって欲しい。
	水資源の確保
	外国人資本等による森林買収から水源林等を保護するための取組が急務
	下水処理がどの家庭にもいきわたるなど、自然環境が更に良くなるような施策をしてもらいたい。
	放射線の内部被ばくを最小限にとどめるよう、対策及び指導を徹底する。
放射性物質を吸収する植物として、ヒマワリ、ナタネを多く植える。	

環境

自然環境	自然を破壊する行為への罰則を強化し、自然保護、野生動植物保護の意識を高める。
	環境保護業務の権限の強化
	県の各施策への、生物多様性条約第10回締結国会議で採択された新戦略目標「愛知ターゲット」の理念の取り込み
	長野県が率先して理想的な自然環境の保護策を打ち出し、実行することによって、日本全体を巻き込んで、自然環境の保護に取り組む。
	NPOを含め、関係する機関が今自然保護に本格的に取り組まなければ大変なことになる。
	ゴルフ場やスキー場など、動物の棲みかを奪うような施設はなくして欲しい。
	素晴らしい自然・風土を守り、育て、環境に優しい長野を推進していければいい。
	豊かな自然を前面に出し、環境保護に特化した県を望む。
	希少な動植物を保護するなど、自然を大切にし、更に、観光等の名物とすることで地方の活性化を目指す。
	豊かな自然を存分に生かす。
廃棄物	豊かな自然を大切にすると共に、自然を生かして活性化していきたい。
	補助金を出し、山小屋のトイレを全てバイオトイレにする。
	観光施設や高速道路（SA・PA）などのトイレトーパーを芯のない物にして頂きたい。
	外食などの食べ残しを少なくする。
	県が民間委託をして、スーパーなどに資源回収箱を設置し、県民はいつでも資源を出せて、回収は業者が決まった日に行うというシステムを作る。
	各家庭からの生活廃棄物処理システムの構築
	生活廃棄物の再生利用
	リサイクルの重要性を大々的にアピールし、人々に環境意識を持った生活をして頂く必要がある。
	リサイクル事業を推進する。
	廃棄物処理施設の近くにリサイクル資源化工場を設置する。
環境保全活動	自然や環境を破壊する産廃、大型ゴミ施設等の建設は、住民の納得の上で施工するようにして頂きたい。
	放置車両に対し、まずは貼り紙で警告し、それでも改善されない場合は強制撤去するという姿勢が必要
	自然保護の活動を市民が活発に行えるよう、公共施設等を利用しやすくする。
	自然（森林）を労わる「ココロ」を持ち、保護・保全していくことで環境問題に配慮していく。
	環境保全型の農業や小中学生を対象とした環境教育の推進などを通じて、地域の自然や伝統文化を大切にする意識、行動を高めたい。
豊かな自然環境と住民一人ひとりが光り輝くよう、自然環境を保護するとともに、安心・安全な生活環境を構築する。	
自然情報を集める方に補助を。	

景観	景観を人工と自然に分け、それぞれの特徴やエネルギーのかかるもの等に区分し、管理していくべき。
	篠ノ井線の線路傍の林が管理されておらず見苦しいので、森林づくり県民税を活用するなどして対処をお願いします。
	電柱や看板のない日本一景観の美しい県を目指す。
	不変と見られる案内看板を撤去する。
	歴史的景観や建物の保存
	田んぼ、畑を中心に、自然や古い日本の家や場所、歴史あるもの等をたくさん残し、保存して欲しい。
	地域により建物の高さ規定をして欲しい。
農山村の多面的機能	間伐材をペレットや薪に使うことで里山を維持する。
	貴重な資源エネルギーである地下水を涵養する休耕田の耕作や山中の水路維持
	有害鳥獣対策は、市町村単位では限界があるため、県全体での取組が必要
	中山間地のため鳥獣被害が多く困っている。県の補助事業で鳥獣被害対策を早急をお願いしたい。
	野生鳥獣が里の畑を荒らさないように、荒れた雑木林を手入れし、動物の餌となる木の実のなる木を育てる。
	森林、高山植物の保護のため、有害動物（シカ）の駆除を希望する。
	野生鳥獣の対策について、繁殖を抑える餌の開発や、シカの天敵であるオオカミの導入を検討してはいかがか。
	人間に危害を加える野生動物の駆除
野生鳥獣対策の新たな担い手を増やすべく広報を行ったり、費用負担の軽減を図るなど、県の積極的な取組が必要	

新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等
ものづくり産業	経済状況や災害への対策が基本
	技術力のあるものづくりの県であって欲しい。
	安心・安全・高品質の製品づくりへの回帰
	工業製品の生産拠点の一極集中が問題となっており、長野県にはその分散基地として、これからの多角的な発展を期待する。
	首都圏に集中している産業の中で、長野県の強みとなるものを誘致し、県内産業の発展につなげる。
	未利用地、農地を利用した大規模産業クラスターを形成し、産業の活性化と財源確保を目指す。
	内陸産業として適している医療・薬品産業を国際競争社会でトップになるようにして欲しい。
	観光産業のように、景気に左右され過ぎる産業にとらわれない県内産業を確立する。
	不況時にも大きく変動しない産業または技術を集積する。
	長野県の特徴に精密産業のみならず食品産業が加わるように、食品産業に力を入れるべき。
	新産業創出に積極的に関わり、事業体を立ち上げ雇用を確保する。
	県民所得全国10位以内を目指す。
	現在の5か年計画には、一人当たりの県民所得に関する目標が入っているが、この項目は盛り込まなくても良い。
	国に頼らない長野県だけで成り立つ強い経済をつくる。
	持続的に発展・成長するよう、産業の振興を行う。
	県内産業の活性化により、県民がいきいきと暮らせる長野県を望む。
	産業振興で財源を確保し、力をつける。
	自然の多さを活かし、かつ、人口減少社会の中で産業を発展させていく。
	中国よりも経済成長が見込め、領土的問題も抱えていないインドとの長期的視野に立った企業交流の後押しをすべき。
	アジアの各地域の企業と県内企業が出会い、パートナーになるよう仲介役をする。
	学生やNPO、個人を問わず、市民参加で商品に意見をもらう。
	絹と木綿を使った日本製の製品をつくる会社と売る店が欲しい。
	中小企業振興基本条例は速やかに実施すべき。
県内就労者の賃金が上がるよう、大型企業をつくって欲しい。	
県民所得が低いので、製造業の誘致を行い働く場所をつくる。	
企業を誘致して就労率をアップさせる。	
企業の誘致	

ものづくり産業	将来性のある企業を免税で誘致して県内経済を活性化させる。
	税金優遇などにより、現存企業の定着と新規参入企業を誘致を進めて欲しい。
	企業誘致の促進と成長分野産業（医療・環境・先端技術）の強化
	企業を誘致し信州を活性化させる。
	産業活性化のために企業誘致をする。災害時の対応策を提示しリスクを分散させるような仕組みが提案できれば良い。
	長野県の活性化のために最も力を入れることは企業の誘致
	長野県をコンピュータ&コミュニケーションのメッカとする。
	新規事業創出のためのアイデアを募集し、優秀なアイデアに県が出資する。
	一人ひとりが自分自身で起業をし、生計を立てていくことができる県になればいい。
	長野県の製品、伝統技術等の海外への出展サポートの強化
	諏訪地方を中心に発展した精密工業の工業製品を内部で消費できるような仕組みをつくる。
	工場・商業がいかに入りにくい県であることを自覚し、即決断するため民間アドバイザーを常駐させるべき。
	伝統を守る会社や店を受け継いでもらいたい。
	均衡ある県土の発展の観点から、東・北信と同様に、中・南信の中心地（上伊那地域）に県内2校目の工科短大の設置が必要
	中学・高校の早い段階からソフトウェア技術者の育成に力を入れて、コンピューターに強い県民を生み出す。
観光	山岳地帯も美しい景色が特徴の県として岳々を生かす取組をPRしていくこと。
	さわやか信州をこれからも大いにPRして欲しい。
	クリーン、新鮮、さわやかなイメージを、言葉で、地域全体でつくる。
	自然と観光地に恵まれた信州をもっとアピールして欲しい。
	自然が豊かで美しい長野県を内外に発信して欲しい。
	自然を生かした観光に取り組むと良い。
	既に有名になっている、また俗化した観光地だけでなく、自然豊かな観光地をきめ細かく発信していく。
	長野はとても自然が多くてきれいな所だと思うので、自然をアピールできるといい。
	自然をもっと生かしてじっくり泊まれる観光を目指す。
	日本古来の良い文化や温泉、自然などの資源を生かした観光振興に力を入れて欲しい。
	豊かな自然という他県にはない財産を生かした観光アピールや林業等に力を入れれば更に魅力ある県になる。
	豊かな自然を守った上で、観光業へつなぐことができるよう目指していく。
	温泉資源と夏の涼やかな気候を生かした観光とリゾート振興
	地熱発電所を見学してから近くの温泉旅館でのんびりできるような観光名所を作ることで、観光産業を活性化する。
	県内にはパワースポットがたくさんあり、そのような場所の環境を守り、整えることで、神秘性を持った観光地にする。
野菜から畜産物、加工品からB級グルメまで、もっと幅広く県外で「食」のPRをして欲しい。	

観光	観光は、行きにくかったり、行ける機会が少ない方が消費が増える。そういう観光資源を開発できれば良い。
	団塊の世代をはじめトレッキング、ウォーキング用の手段として、県内の古道の統一宣伝
	色々な山々、坂道、中山道等々、ウォーキングルートとして非常に恵まれている。ルートの整備をすれば、観光県として伸びる。
	南木曾駅から桃介橋、南木曾岳という観光ルートをつくり、木曾谷の「観光」を一つ増やしてお客様を呼び寄せる。
	これからの長野県には、観光産業のさらなる発展と他県の人々の受け入れが必要
	観光産業の充実・発展
	観光客の利用するホテル、旅館などの宿泊施設の充実
	高層ビルの屋上に簡易型の観覧車を設置する。
	長野県に水族館が欲しい。
	他県から人を呼ぶことのできる公営カジノのような目立つ施設を県内各地につくって欲しい。
	観光地を整備して他県にアピールした方がいい。
	スキー場の設備の見直し、合理化を図り、魅力ある設備、値段を実現する。
	皆さんが楽しく集まるイベントや観光名所をもっと増やす。
	お祭りや新規イベントを積極的に開催する。
	県内には人気のある作家がたくさん住んでいて、支持する人たちもたくさんいるので、イベントなどを開催し盛り上げてください。
	観光においては、民の力は非常に弱く、行政の力を最大限発揮して頂くことが肝要である。
	観光地信州のソフト面の充実が急務。特にホテル、旅館における食事の質の向上が必要。地元の評判の良い飲食店とタイアップして観光客を積極的に誘致してはいかがか。
	ガードレール、駐車場、店など、おもてなしの心を変える。
	「おもてなし」による信州ホスピタリティの推進
	長野県に来て良かったと思われるような、環境、人情、思いやりの心などを育てる教育に力を入れることが大事
	長野県に住む人が長野の魅力について知り、それを他人に伝えられる能力を身につける。
	人々を暖かく迎ええられる心を多くの人が持ち、他県、他国から人を呼び込むことができるような長野県にしていきたい。
	観光客に楽しんでもらうには、地元の人たちが自分の土地を好きになり、誇れるようになって、観光客と一緒に楽しむくらいの気持ちが大切
	県民の皆様が、長野県のことを好きになりその魅力をアピールできるような県にしてもらいたい。
	接客態度に対する意見を吸い上げ、改善に生かしていく体制づくりができると良い。
	観光客満足度が全国でも低く、様々な問題を抱えている現状をしっかりと理解することから始まる。
	観光サービスに対する満足度を50%以上にする。
長野県の自然に「癒し」を求めている都会の商・工労働者のリピーターを増やすため、県民全体で意識を持って接するようにする。	
ゆったりとした気持ちや懐の深さ、俗世間からの解放、人間性回帰、文化、歴史の旅、おいしい地元料理等が観光の目的と考えられる。	
観光立県であるため、県民の公共的マナーを重んじる必要がある	
観光客がもっと長野に来るように宣伝やアピールをし、ごみのポイ捨てをしないように呼びかけて欲しい。	

観光	温泉や宿泊施設などにあるドライバーの安全性や使いやすさについて、県で統一した基準を作成し、基準をクリアしているところには信州安全シールを貼るなどして、おもてなしを向上させる。
	観光地の安全対策を強化し、事故が起きたときに大きな補償問題にならないようにする。
	海外からの観光客を呼び込むための施策をさらに充実。特に観光地や宿泊施設等での外国語による接客サービスを充実させる。
	観光で外国人を呼ぶのはいいが、マナーの悪い一部の外国人への対応ができていない。
	外国への広報を支援して誘致を図る。
	観光産業を中心とした海外客誘致戦略
	雪を見たことのないアジアの成長国の人達をターゲットにして長野県に来てもらい、観光産業を活性化させる。
	国際観光化（東アジアのスノー・山岳地域によるグリーンリゾート）へのハード・ソフト両面の充実
	ユニバーサルデザインによる公共交通機関や道路案内などにおけるサインの国際化
	海外から来た人のためのインフォメーションセンターを設置するなど、海外、特に中国の方々が来やすい環境をつくる。
	外国人観光客のために、外国語の看板を増したり、外国人向けツアーを組む。
	特に外国人にスポットをあて、道なども外国人に分かりやすいつくりをしていく。
	自然環境を基にしたレジャー・余暇県を、日本人だけでなく、外国人にも広くPRし、外部からの人の流れが活発になる県を望む。
	観光地を国内・国外にPR
	長野県に、日本中、世界中から大勢の人が来るようにして頂きたい。
	外国人や県外高齢者の方々にもっと旅行に来てもらい、県内各地の産業を活性化させる。
	他県、海外というイメージを取り除き、県内の居住者をターゲットとした取組を行ってみてはいかがか。
	観光分野でも震災により大きな打撃があったので、また多くの方に来て頂けるよう、安全のアピールが必要
	長野の魅力为全国にもう一度アピール
	観光立県長野をPR
	長野県特有の様々な食文化や行事、豊かな自然をもっと積極的に情報発信し、観光や就業に来て頂けるようにする。
	長野県の知名度を生かし、長野は観光で日本一、世界一を狙うべき。そうした情報をローカルTVやラジオを使ってポジティブな情報を沢山伝えて欲しい。
	北陸新幹線延伸開通を前に長野の観光をアピールする。
観光面をもう少しアピールし集客を目指す。	
長野県へ多くの客が来るようにしてください。	
長野県へ大勢のお客様に来て頂きたい。	
緑・自然を守り、あまり知られていない名所を宣伝して、県民や県外の人に「行ってみたい」と思わせる。	
長野県のいい所を全国に伝え、観光客を増やして長野県を盛り上げて欲しい。	
もっといろいろな地域の人たちに長野県を紹介して、いろいろな地域の人たちが長野県に来て観光して欲しい。	
長野県にやってくる人を増やすため、ローカルレンジャーを作りましょう。	

観光	「アルクマ」のような長野県をPRするキャラクターがいると良い。
	上高地や善光寺などの観光地とその周囲の温泉地とが一体となって集客を図り、賑わいのある県になって欲しい。
	豊かな自然や、善光寺、松本城などの観光名所、冬のスキーなど、長野県の素晴らしいところをもっと全国に宣伝して欲しい。
	山岳観光における全県版パンフレットの作成など、県全体の資源を活用した観光の推進
	名所ツアーや城下町巡りなどを企画し、テレビや雑誌で宣伝をして県外から観光客を呼ぶ。
	県内及び県外から人々が訪れるように、魅力あるツアーの企画、PRをする。
	県内外の市町村と連携した観光振興
	新幹線で長野へ来て、観光ルートをバスで巡り、湯田中や野沢温泉で泊まり、飯山駅でまた新幹線に乗るといったようなプランができればいい。
	八千円から一万円の宿があっても良いのでは。
	ホテルや旅館の宿泊者に、県内の高速道路の無料通行券を進呈し、「もう1泊しようかな」という気にさせる。
	「信州パワースポット」(分杭峠・戸隠神社・横谷温泉・諏訪大社・赤沢自然休養林など)へアクセスする道路や案内版の整備、パーク&バスライドの運行
	長野県民がそれぞれの地域の良さを認識できるようなPRと、気軽にいろいろな地域を回れる交通網の確立をして欲しい。
	観光地間の交通の整備や、各観光地での自然と文化遺産一体型のキャンペーンなど行えば良い。
	観光客向けのぐるりん号(観光地を回る)があれば良い。
	目的地までの道を正確に書いたものが欲しい。
	教育観光の提案と拡充
イベント性の企画でなく、観光の本気な取組を願う。	
県内のイベント情報を、大小もろさず、全国紙に載せれば予定も立てやすい。	
年間イベントカレンダーを作成して、時刻表などに掲載したり、メディアを通じて周知する。	
大阪、名古屋観光、1ターン事務所について、インターネットの時代、もっと有効に各方面からアクセスすることを考え、経費の削減に全力をあげるべき。	
農業	税金の優遇や補助金などで支援して、農・林業の担い手を養成する。
	担い手育成等の耕作放棄地を発生させないシステム作り
	農地や住居の貸付をして、県外の農業従事希望者の受入れを促進する。
	農林業等をやりたい人への助成や技術的支援に力を入れ、多くの人が長野で農林業等に挑戦していける環境をつくる。
	新規就農者や高齢者・女性が取り組みやすい環境が整備され、農家が儲けられるような魅力的な農業を行う、日本一の農業県にする。
	第1次産業の産出額を上げるため、今の従事者に農業のコツを教えて頂きたい。
	第1次産業をこれからも盛んにして欲しい。
	第1次産業に力を入れて、生きる命の食を大切に、ふるさと便を普及してください。
	国の基となる農業の振興
	果実、酪農など農業政策に力を入れるべき。
	今回の震災被害者の受入れを含めた、農畜産業の生産力のアップが求められる。

農業	J Aがなくなったら農村風景は滅びてしまう。
	山間地の中小農家が末永くいきいきと農業に従事できるような仕組みづくりを期待する。
	中山間地の農業を守ることに、また、若年人口と高齢者の交流を図ることが、長野県の持続的な発展につながる。
	所得の問題の改善や農業用機械による事故防止を積極的に進め、農家を大切にできる県にしたい。
	職員が農業現場に出て地域の皆さんと話し、自分たちがやるべき仕事を見るべき。
	T P Pが実施されれば中山間地の零細農家は打撃を受ける。川上にも生活を営む人がいて自然もあり、これを守るためにも是非支援をお願いしたい。
	T P Pが日本でも避けられなくなってきているので、質の高い長野県の農産物をブランドとして世界に売り出す。
	長野県のりんごを日本一に。(東京でりんごというと青森という相場)
	りんごやぶどうなどの食べ物をアピールできるといい。
	長野県産の美味しい物市を開催して、きのこ、おやきを広め、長野県産りんごを全国1位へ。
	地元の特産物、寒天など販売促進
	米粉産業の活性化
	米・麦・大豆・トウモロコシ・蕎麦等を長野県特産として自給を図る。
	食料生産を100%に。
	長野県の食料自給率をこれ以上下げないように維持し、休耕田も潰さないで欲しい。
	食料自給率を向上させる。
	食料自給率を上げ地産地消100%を目指す。
	県の4地域ごとのモデル地域をつくり、段階的に耕作地を拡大し県民が安心して食し地産地消で農業が成り立つ社会を目指す。
	地産地消の充実
	地産地消の動きを高めるため、アイデアを出して推進して行って欲しい。
	農産物の地産地消をより一層進めれば内需の拡大につながる。
	農業が盛んであるという素晴らしい特色を生かし、地産地消や食育を推進する。
	学校・公的機関の食料を全て自然農法の作物で賄い、子どもの未来を豊かに心身の健康を増進する。
	農薬に頼らない生活の提案
	先人の知恵を検証し、循環型で、化学肥料・薬を使わない食をもう一度考えていく必要がある。
	無農薬の野菜づくり
農薬を使わない作物の指導をするよう、農協等を指導する。	
無農薬作物の栽培促進	
果樹、野菜の放射性物質の調査を徹底して欲しい。	

産業・雇用

	効果の無い、鳥獣いかく用爆音器は県内でいまだに使われており、どこの地域でも騒音や健康被害が出ている。1日もはやく禁止して、いっしょに文化的な長野県をめざそう！	
	遊休農地を有効活用するため、特に限界集落に助成をし、退職後の人に若い人を指導するリーダーとして働いてもらう。	
	荒廃農地の利用促進のため安い地価などを背景に、長野県を農業や新ビジネスなどの「チャレンジ」を支援する場所にする。	
	耕作放棄地、畜産農地を作物耕地に転用が可能であるかの研究	
	農家を継ぐ人が減少することが考えられるが、使われなくなった農地を有効利用する。	
	遊休農地を行政で一旦借り上げ、使いたい人に有効に使ってもらえるよう行政で貸し出す。	
	スポーツに農業体験を追加し、放棄地の利用を。	
	農家民宿の許可を簡素にして欲しい。	
	農業者自身が農産物を加工する場合の認可を簡素にして欲しい。	
農業	県外の人々に積極的に山間地の農作物のPRを行い、農家が収入を得られることが大切	
	果樹の剪定枝をペレットストーブ等で利用し、出た灰を草木灰として格安で販売することで、県の農業を活性化する。	
	農業の将来に希望を持てるよう、販路の拡大や安全な野菜のアピール、新規就農者の拡大に取り組む。	
	担い手の育成や農業とレストランを結ぶことなどにより、農業を活性化させる。	
	災害時でも供給が途絶えないような県内の農産物の流通ルートの確立	
	酪農も行い、副業として野菜栽培や工場に勤めるなどの兼業化を進めていく。	
	野菜、果物、花卉と多くの園芸生産をしているが、将来的にも今よりずっと農業県であって欲しい。	
	日本の農業と文化を守る食料自給権・食料主権の主張	
	大規模農地を造成し食料の自給率向上を図る。	
	広大な大地を十分に生かした大規模農業事業、あるいはその補助を行う。	
	林業・木材産業	緑の森の林業を推進する。
		林業に力を入れる自然が美しい長野
		林業の活性化のために従業員の労働条件を良くする。
国内産材の需要を高める。		
県産材の供給はいくらでもできるが、需要がないので、県外、海外へのアピールをもっとして頂きたい。		
県内産木材のベンチを設置		
信州の木の良さを知ってもらい、信州の木を利用した住宅を普及させる。		
「公共建築物・公共土木工事等における県産材利用方針」による木材利用の推進		
薪利用者への供給体制を整備し、薪ストーブの利用を促進する。炭材になる広葉樹への転換も。 木材のエネルギー活用。炭化により、ガス、油ができ、スターリングエンジンで発電などが考えられる。		

建設業	公共事業を増やし、建設業を改善させる。
	官民協働による地域産業の基盤強化、地域を支える建設業との協働
	建設リサイクルの推進、ゼロエミッション事業の推進
	低炭素社会の構築へ向けた公共工事の推進
	環境配慮指針の遵守の徹底とフォローアップ
	緊急時の災害対応・冬期間の除雪など地域の住民の暮らしに不可欠な建設産業と恒常的に協働しあえる体制の構築
	公共事業を進めるにあたっての P I (Public Involvement) の推進あるいはステークホルダーへのアカウンタビリティの推進
	公共事業着手に当たっての第三者機関からの意見聴取の検討
	事業価値を高める工夫。限られた予算の中で、最大の効果を発揮するためには公共事業の価値を高める工夫が必要
	在勤地内契約の採用。見積合わせ、入札時の落札の第一条件を在勤地内半径8km以内の業者に限る。
	購入物品選定においては、日本製品、地産製品を優先する。
	安さを求めると、企業は人件費の削減に動いてしまうので、入札という面だけを重視するのではなく、全体をみる視点も大事
	商業・サービス業
空き店舗や使われていない施設などをリフォームして、文化の為の利用や、お年寄りの人達の憩いの場（語らいのできるようなもの）などを提供することが大事	
テナントが空になっているビルや建物、土地をそのままにしておかないで、自然と風土に合う建物を造ってモノを売ったり、人気商品やマニアグッズを扱って人を集める。	
近所の小さなお店がなくなり、長野市街まで行かないと買物ができないため、近くにスーパーのような所ができると皆が便利になる。	
買物弱者に対する支援強化が必要	
買い物弱者を救済するため、食品販売カーを増やし、山間地に暮らす高齢者を支援	
買い物弱者を救済するため、スーパーや役所等への送迎を地域の実情にあわせて支援	
商工会議所等で同じ業種の仲間を紹介してもらい、同業種のつながりを築く。	
第3次産業が47位で最下位なので、何か政策をとって欲しい。	
第3次産業の就業率を上昇させるためにも、公認ギャンブルを導入して欲しい。	

ブランド	北海道伊達市が行っている「心の伊達市民」というような取組が長野にもあるといい。
	日本一人気ある県、世界でも人気ランキングに入る県になるよう努力して欲しい。
	「長野ファン」を増やし、観光客、人口増へ。
	子どもが信州に慣れ親しむことのできる体験のようなものを企画して、子どもの頃からの信州ファンを増やせると良い。
	長野県と言ったらこれだ！と言えるものがあると良い。
	今よりもっと活気がほしい。全国にアピールできるイベントや活動をして欲しい。
	信州のブランド力の向上
	県内の魅力の発掘、開発をし、長野県ブランドを確立する。
	製造業、農業、林業などの長野県ブランドの確立に、今まで以上に力を入れる。
	長野県の特徴ある産業を、いかにして全国、世界へ発信していくかを考えていって欲しい。
	長野県の豊かな自然環境は、自然景観を目的とした観光や自然を守る活動を通じて多くの方に来てもらえるアピールポイントになる。
	「人が良い」というのが長野県の特徴。「温かさ」をアピールしていきたい。
	長野の物産を扱うアンテナショップがあるといい。
	長野の物産館を横浜に共同でつくる。
	地元の産物を売りに東京へ行ってアピールするなど知事に活躍して欲しい。
	数多くある特産品や観光地、松本空港等を、他の県、海外などに知ってもらおう。
	県全体で集客力のあるB級グルメの開発や提案を行い、B級グルメの全国展開を図る。
	県で地域ブランド(三流・B級グルメ)をいくつかつくる。
	長野のイメージを健康長寿ピンピンコロリにするとして大切になるのは食！長野県の名産を全面的に売り出して行く！ 信州黄金シャモや信州プレミアム牛肉などのブランド畜産物の知名度を上げ、生産を促進していきたい。
	地元の食材や調味料をもっとPRする。
県が大手メーカーと連携し、信州ブランドの原料や地域限定品を売り出す。	
県外者が多い県内の大学などに、観光者の視点に立ってもらって信州の魅力を伺ってみる。	

雇用・労働環境	商業英語検定が重要
	もっと就職率の高い環境になればいい。
	有効求人倍率を上げるように取り組んで頂きたい。
	長野県の発展をはかる為に、旧来型とは違う形で新たな市場と雇用の創出が必要
	長野県で働くことを条件とした、医師やエンジニアなどの専門職への支援制度を作り、人材の受入れと育成を図る。
	大学進学で県外に出た学生が、再び長野に戻って働きやすい環境の整備が進むと良い。
	体力があり、仕事以外にもやりたいことが多い若者に安定した仕事と収入があれば、需要に消費がかみ合って経済成長が見込める。
	若い年代の労働者を確保できるように、産業の充実と魅力的な県づくりを目指す。
	県内に勤めてもらいたい。
	長野県で仕事ができるようにアピールして欲しい。
	IターンやUターン雇用の促進を求める。
	男女差別の無い雇用促進
	仕事をしたいと頑張っている人たちが就職できるようにして欲しい。
	パーソナルサポートを早く取り入れ、就職サポート、その後のケアをして欲しい。
	何の役職でもなく、肩書きもなく、地域を支えてくれているシルバーの方の待遇改善を求める。
	土曜日の半日出勤の復活を望む。
	勤労青少年ホームが、現在の青少年のニーズに合わせた機能を発揮できるように、条例を改正し施設を生き返らせて欲しい。
正社員雇用を企業に対して徹底させる。	
子どもを地域に預け、母親を社会に出すことで、長野の生産力の向上を望む。	

新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等
健康	長寿県である長野で、さらに上位を目指すことができるように健康対策に取り組む。
	福祉事業に力を入れ、長寿県としての地位を確立する。
	健康長寿の秘訣を詳しく調べ、他県に情報提供して、日本全体の長寿に貢献する。
	「長寿」とそれを支える「仕事」のことを外へ伝えていくと良い。
	「長寿県」というイメージを保持しながら、県民の安全で安心な生活を保障する。
	長野県の特産品が健康に良いことを科学的に証明し、それを健康増進や地域の活性化につなげる総合的地域育成事業（長野県版コホートピア構想）を立ち上げる。
	医療機関と連携した市町村の観光資源を活用したセラピーの実施
	保健師の定員を増やし、より住民に近い位置で保健師が活動できるようになることを望む。
	民間のスポーツジム、スクール等と連携したインストラクター、ガイド等による運動指導
	うつ病の回復過程にある方の職場復帰前の事前練習ができる作業所づくりや、企業に向けた職場復帰プログラムの提案
医療	自殺の後処理にかかる費用をまかなうため、税金で全ての県民が保険に加入して税金が高くなれば、自殺は迷惑という概念が広まって自殺が減るのではないか。
	未成年者は皆、子宮がんワクチンの接種ができればいい。
	都市と地方の安定的地域状況による、医師、看護師、介護士の確保
	医師、看護師、その他コメディカルが育ち、継続して働くことのできる環境づくりを切に願う。
	地域医療を堅持するには、医師及び看護師の確保が重要
	地域医療を担う次世代の医師育成のため、人材育成に対する財政的な支援が必要
	開業医ではなく勤務医を増やせる政策をしてください。
	医師不足、寿命上位というアンバランス、地域差を真に検討し、早急なる対策を。
	都会だけでなく地方にも良い医師・施設を。
	医師・病院の増設
	質の高い医療施設と医師の確保
	新しい病院を建てるのではなく、医療スタッフを充実させるように予算を割けば、充実した医療を県民に提供できる。
	住民が安心して暮らせるよう、長野県立木曽病院を県の力で存続させて欲しい。
	重粒子線治療など、先進医療等の充実した施設づくりをお願いしたい。
	医療の充実
医療の充実を目標として、年をとっても過ごしやすく安心できる県を目指す。	
病院入院患者の健康回復を図り、将来に医療費や福祉施設・病院にかかる経費を削減する。	

医療	長期入院が必要な重病人が、3ヶ月で退院をしないですむようにする。
	脳卒中で入院した人が、すぐ3ヶ月後には転院できるよう次の病院を当たらなければならない、というような話をよく聞くが、これで良いのか。
	ジェネリック医薬品を希望するか保険証でわかるようにしたり、臓器提供の意思表示も保険証でわかるようにしたらどうか。
	入院患者の負担を考え、入院時の洗濯代やおむつ代などにも健康保険を適用して欲しい。
	万一の際に血液が不足しないように、日頃から、献血等により十分な血液を確保して欲しい。
	末期医療と自然の滋養、抱擁、癒し効果を最大限生かした場づくりができれば素晴らしい。
	AEDを増やす。
	過疎地が医療過疎地にならないような施策を強力に進めて欲しい。
	週1回程度、医師や保健師等を地域の公民館に派遣し、中山間地における医療を確保して欲しい。
子育て	ドクターヘリの航空機運用の重複する任務及び持続可能な航空機運用について再考
	県で、婚活をサポートする機関をつくる。
	晩婚化が進んでいるので、お見合いパーティーをたくさん開いて恋愛大国長野をつくる。
	少子化対策にさらに力を入れて欲しい。
	出生率 1
	少子化に歯止めをかけ、子どもたちが村にもたくさんいるような県になると嬉しい。
	少子化を止めるために、子育て環境の整備を徹底する。
	出産から成人までの子育てを支援する社会システムの構築が必要
	安心して子どもの出産や子育てができるような環境づくりの取組をして欲しい。
	子どもを産み育てやすい社会形成
	出産、子育てに対する制度の充実
	より安心して子育てできる環境づくり
	子育て支援を積極的に行う。
	子育てをみんなで支えていく「子育てサポートネットワーク」を整備することにより、安心して子どもを産み育てられる「子育て先進県」を目指していくことが必要
	商店街を利用した子育てサロンなどの子育て環境の整備
	幼児教育施設を増やし職員も増員するなどして、親も預かる側も安心して子育てができる長野県を目指す。
	子育てを決して母親任せにせず、父親も積極的に育児に参加できるよう、育児休暇取得の推進を行って頂きたい。
	女性が働きながら子育てができる社会を目指す。
	母親がフルタイムで働きながらでも子育てができるようにして欲しい。
	育児で仕事をリタイアした人へ幅広い支援を行う。
本当の意味で保育園待機児童がゼロになるよう、保護者一人ひとりの事情を真剣に聞き、近い園に入れるよう考慮すべき。	

子育て	一時保育料を2人目半額にして欲しい。
	3歳未満児に限り、月に半分だけ入園という仕組みをつくって欲しい。
	子どもたちや保護者が一緒に遊びながら学べる施設設置を！
	国に子ども手当をやめるよう言って欲しい。
	不妊治療をしている人への支援・補助を行う。
	産後うつ予防を目指して、地域ごとの様々な育児支援団体、講座等を取りまとめ、ホームページ等で予約等を行えるようにする。
	人の成長の要である家庭の相談コミュニティを創設する。
	子どもの権利条例を制定して欲しい。
高齢者福祉	健康と観光と高齢者の生きがいを複合的に取組む政策をさらに積極的に拡充されたい。
	シニアが近くで気軽にかつ安価で参加できる集まりを沢山つくって欲しい。
	シニアが講師となることで知識を共有でき、さらに、教えることで生きがいが増えるような仕組みづくりを期待
	お年寄りから学ぶ機会を増やしたり、介護施設と幼稚園または小学校を併設するなど、高齢化への対策をする。
	生涯現役でいられるように、高齢者の仕事づくりを。
	高齢化、人口減少社会を解消することを考えるより、全国の元気な高齢者が長野で生活するような取組や施設はできないか。
	温泉施設、スキー場、スケート場、ゴルフ場等は、10%の使用料にするなど、介護保険料を受給していない70才以上の方々に少し特典を与えて欲しい。
	将来、子どもたちに介護施設に勤めてもらいたい。
	介護を要する人など、多くの人間の機能回復に成果をあげているセラピードッグによる治療を積極的に取り入れる。
	一人暮らしの老人のために、ごみの収集や、日用品・食料品などの配達システムを整えて欲しい。
	認知症になっても本人や家族が安心して暮らせる制度、地域づくり
	年老いた親は家族が協力して面倒を見るよう、県で指導して欲しい。
	お年寄りにやさしい県になって欲しい。
	お年寄りにやさしい長野県になって欲しいと願う。
	お年寄りにやさしい県政をお願いする。
	税金を福祉事業（介護保険等）に回してもらいたい。
	ダムをつくるお金で、福祉施設等を充実した方が雇用が生まれ、生産力もつく。
	老人介護施設の充実
	特別養護施設の増設を早急をお願いする。
	介護施設、養護施設、病院等の施設を存続、内容を充実させ、福祉の充実した県にしてください。
高齢者のための施設をもっと増やして欲しい。	
需給バランスを踏まえた老人福祉施設等の整備促進及び施設整備に対する財政的な支援が必要	
有料老人ホームなどを増やし、施設介護があたりまえといった風潮をつくって、高齢者が早めに入所できるようにする。	

医療・福祉・安全・安心

高齡者福祉	<p>介護の先進県となるために、高齡者が暮らしやすい街づくりをする。東京都で進められている、高齡者等を支援する「シルバー交番」を推進する。</p> <p>高齡者が増えると思うので、長野駅以外もバリアフリーを増やした方がいい。</p> <p>道路のバリアフリー化や、買物、病院、福祉施設などの整備を進め、高齡者が過ごしやすい街をつくる。</p> <p>部局を横断するユニバーサルデザイン室を設置し、諸問題への取組を研究して頂きたい。</p>
障害者福祉	<p>精神障害者も働けるように、働く場所を作って欲しい。</p> <p>障害者にも働く場所をください。</p> <p>仕事に就いて自立した生活ができるような対策をしてもらいたい。</p> <p>障害者にやさしい、自立、発展を目指した施策が欲しい。</p> <p>身体障害者だけではなく、精神障害者の地域生活にも理解を示し、差別や偏見がない地域社会が構築されることを願う。</p> <p>知的障害を持つ生徒が増加する一方で、農業従事者が減少している。障害を持つ子どもが農業に従事することで農業も救い障害を持つ子どもも救える。</p> <p>障害を持つ人たちが、生きていることに誇りを持つことができる環境づくり</p> <p>街中の段差を無くして車イスでの移動が楽になるようにする。</p> <p>耳の不自由な人のために、テレビは文字放送にしてもらいたい。</p> <p>発達障害を持つ子や不登校の子など家庭で過ごしている子が、気軽に参加できるフリースクールのような場所を作って欲しい。</p> <p>市町村独自で運営している子どもの発達障害等に関する相談機関をセンター化し、相談、アセスメント、カウンセリングなど、あらゆることがスピーディーにできるようにして欲しい。</p> <p>県立総合リハビリテーションセンターを脊髄治療の一大拠点に。</p>
地域福祉	<p>地域のことに目を向け、近接に住む住民とも密接に関係を持って、地域全体が支え合って生活をしていける長野県にしたい。</p> <p>孤独になりがちな高齡者と、人との関わりが薄れてきている子どもたちが関わる広い世代間のコミュニティをつくる。</p> <p>震災によって花開いた「人を想いやる心」を育み、日本の復興に向けて、お互いに歩み寄り協力できる社会づくりを目指す。</p> <p>近所のつながりをつくり、災害時など頼り合えるようなコミュニティをつくる。</p> <p>衣・食・住についての指導者や良き相談者を育成し、将来の人口減少社会に向けて取り組むことが必要</p> <p>福祉の充実</p> <p>託児所や保育園、宅老所などにもっと税金をまわしてもらいたい。</p> <p>子どもや障害者や外国人のために働いてもらいたい。</p> <p>後継者がなくシャッターを閉めた商店街など、使っていない土地や建物などを県に生前贈与して県で活用し、毎月分割で贈与資産に応じた金額を受け取れるシステムはできないか。</p>

医療・福祉・安全・安心

社会援護	子どもの医療費の割引や延長保育の料金への補助などにより、父子家庭や母子家庭の負担が小さくなるようなことをして欲しい。
	高齢者、障害者、低所得者など、様々な社会的弱者と言われる人たちにやさしい長野県であって欲しい。
	働ける年齢でも病気、ケガで働けないときの生活支援をして欲しい。
	生活保護受給者が働ける場所をつくり、70歳以下の人には働いてもらう。
	増加する生活保護者への対策として、山林保護や介護施設などの担い手として働いてもらう。
	働く気がないような人の生活保護はやめ、本当に困っている人を支援して欲しい。
	交通の便の悪い長野県では自動車は必需品であることを考慮し、自動車税は、車両価格や使い道等により税額を決定すべき。
	後期高齢者医療制度と福祉医療制度を利用している方が、自己負担限度を超えた分の給付を受けた後、再度返納するということが生じているので、そのようなことがない制度にして欲しい。
治山・治水・砂防	壮大な川の流れ、美しい北アルプスの景観を楽しめるように、倭橋からアルプス大橋までの河川敷内の樹木を減らして欲しい。
	ダムによる水害対策をやめ、既存のダムも撤去して欲しい。
	ダムは極力少ない方が河川の浄化作用が増大する。
	ダムはいらない。
	浅川ダム建設反対。予算削減を。
	浅川ダム建設を即時停止する。
	水害・土砂災害の防止
	地震、山崩れ等、山岳都市に対応する取組で安全・安心の県に。
	深層崩壊の予防に努めて県民が安心して暮らせる県にしていく必要がある。
	安全で安心できる地域社会構築のために、土砂災害対策は必要不可欠である。
県内には土砂崩れなどの危険箇所が多く、不安に思っている県民も多いので、工事計画を公表し県民や国民に優先順位などの是非を問う。	

防災	災害時の緊急輸送道路として、また、安全・安心なまちづくりに欠かすことのできない道路を整備するとともに、市町村の道路整備に対する支援が必要
	災害発生が予想される地域における、開発の抑制や、移転の促進などによる地域防災の発想の転換
	耐震構造の進んでいない方々に対しては援助をし、より安全な長野県をつくっていききたい。
	物資やその輸送、電気やガソリン等の安定供給など、災害に強い街づくり、体制づくりを行う。
	地震などで壊れない強固な地盤づくりと、予想されうる災害に備えた設備建設を推進する。
	耐震や免震といった補修的なものだけでなく、再建築も視野に入れた方が良い。
	今回の震災を受けて、本庁や合同庁舎などの耐震工事を進める。
	栄村の大地震の被害はすさまじく、とりわけ水田をはじめとした農家は廃業の瀬戸際。県の最大限の支援を願いたい。
	長野県北部地震で被災した栄村の人たちを支援して欲しい。
	長野県で地震が起きたら少しでも協力していく。
	被災地の人たちに野菜を提供したり、募金に協力したりして、少しでもいいので困っている人たちの心の支えになるようにする。
	税金を納めた人は、災害時の義援金保険に、養っている家族全員分入ることができるというシステムはどうか。
	今般の震災支援として、民間マンションを利用して（公営は期限など使い勝手が悪い）被災者を入れた「街づくり」をする。
	今回の震災の義援金の流れに対して疑問を感じる。
	近隣各県と連携し、原発のあり方や産業について地域としての提言や協力をして、いざという時相互協力できる体制を築いておく。
	災害対策の充実
	南信地域で災害が起こっても、素早く救助活動を行って頂きたい。
	危機に対応できる力を持つ。
	災害時に速やかに被災地に出動し、援助を行えるようなネットワーク、ライフラインを整備する。
	震災の被害から少しでも早く立ち直れるようにし、また、今後備えた安全対策を進めていく。
	危機に遭ったときに県がどんな緊急対策をするか公表するシステムを作り、日頃から県民に理解させる。
	日本の防災拠点センターとしての自立を望む。
	災害防止のための自然情報収集を。
	首都を、災害が少なく少しでも安心できる長野県の中心あたりの松本、岡谷、塩尻、諏訪湖あたりのところにする。
	沖縄のアメリカ軍基地を長野県に移転させるべき。
	今回の震災を受け、防災訓練を見直し、電気、自動車、電話、無線等のインフラが使用できない状況での訓練を行う。
	県民一斉避難訓練を実施する。
建物内の避難経路の確保や、いざというときに防火設備が機能するかチェックすることの重要性を伝える。	
県内の天気予報を3地域以上で詳しく予報して欲しい。	
牛伏寺断層における地震について、正確で的確な情報収集の上、知事自ら、顔を出し、「自助なくして共助なし」と肉声で呼びかけをしてみたい。	

治安	防犯に力を入れて欲しい。
	暴力団などを追い出し、治安を良くして欲しい。
交通安全	交通事故が起きないように、ポスターなどを作って呼びかけをする。
	安全講習会の開催、自転車購入時の自転車保険への加入推進を通じ自転車の運転ルール遵守の徹底を図り、自転車事故の減少を図る。
	発進時に警告音などを鳴らす装置のないエコカーは危険なため、長野県では購入を禁止する。
	マラソンに比べて自転車競技を公道で行うには警察の許可が得られにくい。日本で自転車競技が盛んになるには市民の前で行うことが必要で、許可いただけるようお願いしたい。
	事故防止のため、一時停止しないと上がらない遮断機をつくる。
	信号は歩車分離方式にする。
	信号にローマ字表記がないところはすぐに入れてもらいたい。
	道路の標識を分かるようにしてもらいたい。
	国道19号の交通事故が多過ぎるので、追い越し禁止マーク等を目立つカラーにしてドライバーの目に入りやすくしてはどうか。
	運転中、緊急車両のサイレン音が聞こえないので、緊急車両が近づくと警告ランプが点滅して知らせしてくれる設備などを交差点や道路上に設置して欲しい。
	道路幅の拡大や速度規制により、道幅の狭い所の安全性を確保して欲しい。
夜間の車の騒音が大きいので、住居地に近い所の速度規制をして欲しい。	
自動車運転免許証の更新手続きを、平日の時間外や休日にも地元の警察署でできるようにする。	
大型ダンプやトレーラーの免許を取りやすくするために、中・南信地区にそれらの講習所を設けると良い。	
食品・医薬品等の安全	食中毒を防ぐため、昔から食べつけていない食べ物は安全性を疑い、まずその危険性を把握すべき。
	薬は多過ぎず少な過ぎず適量を出すことが効果的
	温泉から出る危険ガスの管理を徹底し、危険度や安全性を示して欲しい。
	ペットや外来種などの生物が自然や生態系に与える影響などを把握し、厳しく管理すべき。
	犬猫の殺処分にかかる費用を生かす方向に使い、犬猫の待遇を改善して欲しい。
犬の殺処分施設を県内に4施設も維持管理していく費用を、殺すためではなく生かすために活用して頂きたい。	

新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等
学校教育	教育県であって欲しい。
	教育県として、教育の内容を充実して欲しい。
	教育、文化の振興。県全体で学力向上を目指す。
	地域独特で先人の智慧を生かした寄附講座の開設等の促進
	学校単位で郷土の誇りを発掘する等の取組を行う一校一自慢運動の実施
	学校教育、家庭教育支援
	学校の休みを他の都道府県並に長くする。
	人づくりをキーワードにして、教育にお金をかけて欲しい。
	学力の低さを改善して欲しい。
	教育に力を入れ、権利を主張するよりも義務を果たすことの大切さなどをしっかり教えた方が良い。
	長野県の教育について、現状を分析し、方策を考えて実施しなければ、優秀な人材が育てられず、将来が危うい。
	段階的な少人数学級制度を取り入れる等、初等教育の充実にも取り組む。
	基礎学力の定着を目指し、少人数学級を実現する。
	英語の必修化は負担が増える。土曜日にでもボランティアを交えてできないか。学校週5日制はやめて欲しい。
	英語の必修化について小学生が中学に出向き英語教師が教えるような工夫はできないか。
	各市町村に英語担当（小学校対応）の教員を配置して欲しい。
	土曜日は半日だけでも授業をしないと、とても新規カリキュラムはこなせない。
	学力を向上させるため、土曜日の半日授業復活を望む。
	新しい学習指導要領や小学校高学年の英語の必修化に対応するため、土曜日は半日だけでも授業をするべき。
	子どものために学校教育のあり方そのものを見直して頂きたい。特に中学生の現状調査が必要
	県立屋代高附属中学について誰もが納得する選考をお願いしたい。
	学年費、山間部からの通学にかかる費用など、中学・高校生の親の負担を軽減して欲しい。
	公立学校では補えない事を積極的に行っている私立学校への大幅な助成を望む。
	私立高校の学費を安くして欲しい。
	高校を義務教育化する。中高一貫教育校にすべて転換する。
	富山県のように全県一区で優秀な生徒の確保が必要
大手予備校と組み、進学校の整備を進めるべき。	
高校の30～35人学級（1学級）の実現をお願いしたい。	

学校教育	長野県独自の奨学金制度を創設し、どんな学生にも必要な学費が貸与されるシステムをつくる。
	若者が県内で学び、就職し活躍できる場を増やすことを最優先課題とすべき。
	県内の高等教育機関の入学者増加による県内就職者の増加
	信州大学の受入定員の増員や、大学などの研究機関の充実により、県内に人が集まるようにする。
	県内の大学への進学率を向上させるため、県立大学を早急に設置
	県立の4年制大学の設置を早急に実現し、優秀な人材の流出を防ぎ、県のニーズに合った人材育成を強く望む。
	早急に県立の4年制大学をつくってください。
	松代の農業大学校近くに県立4年生大学の整備（法学部、農学部、栄養学部、保育学部。工学部は上田。駒ヶ根に看護学部）
	長野県短期大学を4年制にし、長野県を元気にする為に若者の県外流出を止め、1人でも多く県内で学び、県内で活躍して欲しい。
	長野県短期大学の4年制実現へ、知事の大決断を早急に望む。
	長野県短期大学の4年制化を強く希望する。
	長野県短期大学が、県民ニーズに対応できる、県内高校生が多く進学できる4年制大学になることを望む。
	長野県短期大学を4年制大学に。
	長野県短期大学を4年制にし、できることなら南信へ望む。
	長野県短期大学を4年制にし、長野県に貢献できる人材を育成する。
	教育に力を入れるため、長野県短期大学は4年制にすべき。
	是非とも長野県短期大学を4年制に移行して頂きたい。
	長野県短期大学の4年制大学への早期転換を望む。
	長野県短期大学を4年制にし、卒業生に県内で活躍して欲しい。
	将来の県の高等教育や人づくりを考慮して、長野県短期大学の4年制化を速やかに実行して欲しい。
	長野県短期大学を4年制大学にし、企業と連携することにより、人口流出を防ぎ、県の経済も活性化するのではないかと。
	長野県短期大学の4年制移行に向けて知恵を絞って、その実現に向けてできる限りの予算と努力を傾けて欲しい。
	長野県短期大学を4年制大学にし、管理栄養士の資格をスムーズに取得できるような学科を設けて頂きたい。
	長野県短期大学を4年制大学にし、管理栄養士養成学科を設ける必要がある。
	長野県短期大学を4年制にし、管理栄養士養成課程を設置して頂きたい。
	「食」に関するスペシャリストを地元で育てる、長野県短期大学の4年制化を強く望む。
長野県短期大学を4年制にするのであれば、管理栄養士コースを作って頂きたい。	
長野県短期大学が4年制になったら、是非管理栄養士の養成課程も作って欲しい。	
長野県短期大学を4年制大学にするという動きには反対。管理栄養士を育成する学部は信州大学に設けて欲しい。	
学校教育に心理学や哲学を導入して、心の教育を早期に実施してはどうか。	
心のあり方を学ぶ「実践型道徳」（仮）を実施し、社会問題の一部を見せて自由に発想してもらう。	

学校教育	不登校の解決に向けて、医師、カウンセラー、NPO団体、弁護士、不登校体験者とその家族等、あらゆる分野からの視点で検討会議を持って頂きたい。
	公立高校も、不登校に対する支援体制を整え、時代にあった学校にして欲しい。
	不登校やひきこもりに対する取組を強化して、心の強い子どもが増えて欲しい。
	不登校が多いことに対して何らかの取組があれば良い。
	倫理、道徳、協調、奉仕等、日本特有の文化を衰退させてはならない。
	高校生の運動能力が低下しているため、スポーツの顧問の先生に手厚い援助を。
	スポーツと教育にもっとお金を出してください。
	学校にトラブル専門の職員をおいて頂きたい。
	公立学校の先生方にクラブ活動の顧問等で休日なしで毎日活動させることは疑問。専門の先生を臨時で雇用すべき。
	心の病、ストレスで悩んでいる教員へのメンタルケアをさらに充実させて欲しい。
	学校と家庭での教育を充実させるためにも、先生と家族の対話を増やして頂きたい。
	学力の向上、特別支援、不登校への教員配置の増員が必要
	教育制度の見直しや優秀な教師の確保による「教育熱心な長野」の復興
	教育のレベルを上げるために教員の給料を上げてより良い教員を採用する。
	教育への予算拡大と増員を図って欲しい。
	学校の資金をもっと増やして欲しい。
義務教育諸学校すべて冷暖房完備し、教育環境を整え、教育効果をあげる。	
教室が寒くて寒くて子どもが体調を崩すような状況ではとても住みたい県とは言えない。	
生涯学習・青少年	社会教育拡充
	教育・文化行政の振興（図書館・美術館）
	長野市か千曲市に長野県生涯学習センターの整備。ウィキペディア、ウィキブックス、e-ラーニング、放送大学のようなものを整備
	誰でも一人で歌って踊れる信濃の国のカセットを作って欲しい。
	図書館数、蔵書数を増やし、教育再生を目指す。
	学校教育、教育観光共に利用しやすい形態の科学教育施設の建設
	お年寄りと子どもたちをつなぐ生涯教育
	高齢者が子どもたちの教育に関わる機会を充実させたい。
	ゆとり教育や核家族反対
	若者を鍛えよ。
	青少年の学問と教養を高め、強さ、優しさを備えた人間を育てて欲しい。
	家族皆で一緒に食事をしたりテレビを見たりできるようになってもらいたい。

芸術文化・地域文化	文化・芸術等の推進（ハードもソフトも）
	県民文化会館、市民会館、美術館などが多数あり、文化施設はもう不要ではないか。
	北信、中信、南信、東信に各1校美術科を設けるべき。
	本県の独自・多様な文化の発信
	歴史、文化、スポーツの振興
	朽ちた歴史建造物を復元して、長野県は歴史跡の宝庫として全国にアピールしたらいかがか。
	長野県独特の習慣民俗風習がすたれることのないようにして欲しい。
	行政が定期的に現地調査を行い、文化財等を地域全体で保護、継承、活用していけるようにして欲しい。
	様々な年代構成での集会を行い、伝統文化を継承していく。
	松代大本營の名を全国に広め、世界遺産登録をして欲しい。
スポーツ	自然環境保全の観点からも、県内の優れた自然環境の世界自然遺産登録に向けて取り組む必要がある。
	地区の体育協会に補助金を出すよう市町村を強力に指導し、体育立県を目指して欲しい。
	医学の知識も十分に備えた柔道などの武道の指導者を育成する。
	県営武道館建設を是非実現させて欲しい。
	ランニング、ウォーキング用スポーツコースをつくる。
	屋外スポーツをする施設をもっと増やして欲しい。
	県主催の大会や有名スポーツ選手のクリニックなどを開催して、子どもの頃から高い意識を持たせ、スポーツのレベルを向上させる。
	スキー立国のためスキー部門へ投資を。
	冬のスポーツの選手育成だけでなく、野球やサッカーなどの日本代表を地元チームと協力して育成して欲しい。
	子どもたちが将来オリンピック選手になりたいと思うようなテレビ番組を放送し、いろいろなスポーツの選手になってもらいたい。

新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等
地域活性化	市町村と連絡を密にとって、それぞれの良さを取り入れて、一致団結した長野県になればいい。
	市町村合併をしてもらいたい。
	市町村の望ましい規模の観点から、合併促進の再検討
	市町村の財政基盤を充実させる。
	各市町村が独自性を強く発揮できる権限移譲
	元気づくり支援金はやめないでください。
	地域、町会で自主的に行う活動には限度があり、継続的に行うには行政の指導が必要
	市町村の魅力を見つめ直し、地域コミュニティを充実させるため、県のリードやバックアップが必要
	市職員がまず汗をかき、県がそれを後押しするという体制を築いて欲しい。
	市町村の取組でうまくいっているものを県で吸い上げ、各市町村へ還元して、県全体が一部のいいとこどりをする。
	地域持続性を可能にする手法としての住民主体、地域のネットワークで取り組む「観光まちづくり」「エコツーリズム」「6次産業化」の重要性
	すたれてしまっている地域を整えて観光スポットなどにもつなげ、村や町を元気にする。
	山間部における過疎化の問題について、県として広域的な対策を講じ、長野県全体が活性化することを望む。
	過疎化が進んでいる地域に学校をつくり、高齢者の方々しか住んでいない家にホームステイして、そこから通えるようにする。
	限界集落などは、現在住んでいる住民の通院等の補助に努め、最後はその集落をなくす覚悟も必要
	北信、東信、中信、南信それぞれの地域特性を明確にして県外へ発信すべき。
	どの地域も「長野県」というひとつのまとまりとして県全体の活性化を目指していけると良い。
	交通の利便性向上や文化の交流により、東北中南信の連携が進み、それぞれの文化を守りながらより発展する。
	北信から南信まで、ひとつになって何かに取り組む。
	長野県全域が同じように発展していけるよう、それぞれの地域特性を生かした政策を行って欲しい。
県内の地域格差が大きいので、長野市や松本市周辺だけでなく、南信にも目を向けて欲しい。	
南信だけが取り残されず、県全体がまとまりを持って発展して欲しい。	
県関係の会議や研修は、長野市ばかりで開催せずに、県内のいろいろな場所で開催する。	
飯田下伊那地域でも、試験やイベント等を開催して、北信の人たちも足を運んで欲しい。	
NPO・ボランティア	NPO活動の存在を県民に広く認知してもらう。
	ボランティア活動をもっと増やす。
男女共同参画	女性にもっと活躍の場を広げ、学習のチャンスを与えて欲しい。
	男の人の家事・育児参加を促進し、男女平等の社会を目指す。
	女性の社会進出を進めるために、男女の意識を変えることと、子どもを学校など社会で育てる仕組みが必要

国際化	外国人にもやさしい県にしてみたい。
	県民がもっと広い視野に立つため、県民負担で海外研修を実施
	最低7カ国語を全県民が話せるように努める。
	人口が少ないならば外国人を入れ、外国人人口が日本の人口を増やすぐらいの英断を。
	今回の震災で世界一の支援をしてくれた台湾との交流を。
農山村	限界集落にも散歩のできる歩道を整備して欲しい。
	費用便益のみにとらわれない、山間地（へき地）でも故郷に安心して暮らせるための支援
	人が地方を去って都市に集中するという現実を逆転し、地方に活気が満ちてくるようにして欲しい。
	県外の大学、各種学校、高校などのセミナーハウス、研修所等への優遇制度を創設し、誘致活動を行ってはいかがか。
	企業の研修を、県内の自然が豊かなところで引き受ける。
	都会に若者を奪われないためにも「アキバ文化」、「オタク文化」を受け入れて街おこしをしてはいかがか。
	外国人労働者を定住させる取組を行う。
	外国人の定住を進め、村民と協力し合い新しい県づくりを進めてもらいたい。
	県内に移住して頂きたい。
	安曇野ブランドのPRや子育てしやすい県づくりにより、Iターン人口、移住者を増やす。
	子育てをしやすい環境を整備することにより、子育て世代の移住者を増やし、子供・生産年齢人口の増加を目指す。
	子どもの過ごしやすい環境を整えることで、子どもを育てる親の世代を長野に呼び込めるようにする。
	若者の就労機会の確保が定住促進に不可欠
	自然の美しさや人間の温かさをアピールし、若い人達が「ここでずっと暮らしていきたい」と思えるような努力をする。
	移住の促進
	退職後のIターンを促進する。
	移住希望者が住まいや就職の問題に不安を感じないように、受け入れ体制を整備して欲しい。
	移住者が地域の人々に受け入れられる開かれた県になって欲しい。
	農林業等の体験に力を入れ、都会に住む方々や外国人の方々に長野に住んでみたいと思ってもらおう。
	間伐や農業と婚活を一緒に行う。
	農林業で生活ができるように農林業を効率よくすること。
	美しい農村づくり
	中山間地域の活性化のため、大豆、ソバの栽培を進めているが、高齢化で無理。修学旅行を中心に、観光、グリーンツーリズムを進めるべき。
	森林セラピーの推進
	森林セラピーの普及
	長野を癒しのグリーンベルトでつなぎ、心と身体の健康を維持する活動を地域の方々と協働で促進する。
	森林のある病院などで、他県からの人間ドックを受け入れる。

都市環境・住環境	東京都みたいな都市化を望む。
	多目的かつ機能的な駅ビルの開発
	主要駅付近は、商業施設がもっとあって活気に溢れて欲しい。
	北信地域の観光拠点となるような、飯山駅周辺の整備が必要
	住む人にとって便利な街づくりを進めて欲しい。長野市、松本市以外の地域も街開発してもらいたい。
	もっと公共の交通機関を使った移動がしやすくなるよう、駅前が活気のある街づくりをして欲しい。
	高齢化社会に対応したコンパクトシティの推進。公共交通や自転車利用の推進
	自然をできる限り守りながら、交通等が便利になり都会的になるような方向にもって行って欲しい。
	中核的な市は工業の発展と更なる都市化、周辺の市町村は自然を最大限活かし農林業等の発展を進め、地域ごとの特色が色濃く出ている個性的な県にしたい。
	自然や景観を守りつつも、大型商業施設や娯楽施設が充実し、不便を感じず、ずっと住みたくくなるような長野県になれば良い。
	環境を整備し、きれいな街づくりをして欲しい。
	都市計画をセンスあるデザイナーにまかせ、美しい長野県の街並みをつくり、更なる観光の発展を図って欲しい。
	長野駅舎を以前のような個性のあるものにして、観光客が、「これが長野か」と思えるような環境をつくって頂きたい。
	タクシーの台数が少ない。
	歩道を広げ、歩きやすい街づくりをし、健康増進、CO ₂ 削減を目指す。
	太陽光充電式街灯を設置
	街灯を増やして欲しい。
	防犯の面で、街灯があり夜道が明るいが良い。
	公衆トイレを増やす。
	洋式トイレの普及があまり進んでいない。駅の車イス用トイレにウォシュレットをつけるべき。
街の中にも大きくゆったりと過ごせるような公園が必要	
松本平広域公園総合球技場（アルウィン）北西部の農地と西側の河川敷を駐車場として整備し、農地部分は県立武道館や県立スポーツメディカルセンター等との共用駐車場とし、河川敷部分は冬期間の雪捨て場として利用する。	
松本市和田の住宅供給公社分譲地が売れ残っている。人口減で空家が増える時代に逆行する政策は先見の明がない。	
地球温暖化における住宅の断熱化について寒冷地である本県において固有の政策検討（横浜市建物環境総合評価等）	
土地が外国法人に売られないようにして欲しい。	
高速交通ネットワーク	リニア中央新幹線はエネルギー多消費型の典型。県として不要の姿勢に転じてください。
	リニア中央新幹線建設により、何十万年もの自然の歴史を破壊・汚してはいけないのではないかと。
	リニア中央新幹線は本当に必要なのか、もう一度考えて欲しい。
	リニア駅及び東海道新幹線駅に接続するため長野駅から下伊那まで県縦断新幹線の整備
	リニアルートによる飯田への駅設置を見越し経済活動を促進するため、南信に開発局（推進室）を設置
交通支線の連絡など新幹線を生かした取組を。	

高速交通ネットワーク	全体的に地域格差を是正するようなインフラ整備を県全体で構築して欲しい。
	日本列島に将来を夢みての背骨高速道路をつくって欲しい。
	太平洋側に簡単に行けるように、道路網、交通網を更に整備して欲しい。
	中央道から太平洋側に最短で抜ける高速道の整備
	上小諏訪連絡道路や松本佐久連絡道路の早期実現を目指し、地域間の交流が活発な長野県であって欲しい。
	三遠南信自動車道等、南信地域のインフラが整備されるよう、積極的な取組をお願いしたい。
	中信地区は、南北に長い県の中で残された陸の孤島。信州まつもと空港があるが観光目的のみでしか利用されない。
	滑走路の500m延長をはじめとする信州まつもと空港国際化を前提とした再整備
道路ネットワーク	F D Aによる海外直行チャーター便の実現と中型機による就航のため、滑走路を2,500mに延長
	高校生や中学生に修学旅行や職場見学で信州まつもと空港利用の経験をしてもらい、将来の利用者増加を図る。
	自動車が生足の足。早急に国道の自動車通行不能区間の整備をお願いしたい。また、今後の整備計画を示して欲しい。
	長野県の道路網がどのようになることを目指しているのか知りたい。
	上田から松本、諏訪方面への道路を片側2車線へ改良して欲しい。
	東信から南信への交通の便が悪い。交通の便が良くなれば人や物も行き交い、地域格差も少なくなる。
	国道158号の再整備や中部縦貫自動車道の整備
	道路などの施設整備について、長野県の南北の格差を是正して欲しい。
	来県者は車での場合が多いので、道路整備が大切
	地域高規格道路（松本-糸魚川）の早期実施
	主要地方道下仁田浅科線の志賀本郷地区の間は住宅密集曲線狭小で危険なため、安心安全の道路改良とバイパスの建設をお願いする。
	主要地方道下仁田浅科線の志賀本郷地区の間のバイパス建設を含めた整備改良をお願いする。
	主要地方道下仁田浅科線の志賀本郷地区の間のバイパスの早期開通を切に願う。
	主要地方道下仁田浅科線の志賀本郷地区の間について、是非道路の改善とバイパスの建設促進をお願いする。
	主要地方道下仁田浅科線の志賀本郷地区の間について、安全安心の生活道路実現のためバイパス建設も含めた整備をお願いする。
	主要地方道下仁田浅科線の志賀本郷地区の前後はバイパスが整備されているが、当地区が未整備で主要道として機能していないため、改良整備をお願いする。
	車道からの水はねと子どもの飛び出し防止のために、歩道と車道の上に低木を植える。
車両を安全によりスムーズに通すにはどうすればよいかドライバーの意識づけをさせ、追越区間や夜間点滅式の交差点を増やすなどの姿勢があっている。	
歩道・自転車道・自動車道の分離整備	
どこでも自転車が安心して走ることのできる道づくりを。	
道路や都市開発などは、現在あるもののメンテナンスに人や物を集中させ、新たなものは必要性をよく検証して欲しい。	

公共交通ネットワーク	地域公共交通の維持に対する助言・支援を行って欲しい。
	南信地域は都市からのアクセスが悪いので、線ではなく面での公共交通の高速化を図る必要がある。
	リニア中央新幹線でピンポイントで都市部に接続できることよりも、限界集落と言われる地方の交通を長い目で整備していかなければならないのではないか。
	南信地域の公共交通ネットワークの確保
	人と物流が活発化する公共交通の整備
	長野電鉄屋代線はアイデア次第で生き返る。存続へ県のリーダーシップを期待
	しなの鉄道による屋代線の運営・長野駅から松代までの鉄道（地下鉄）の整備
	長野市中心に地下鉄網の整備
	観光客を増やすために、県内の私鉄や第3セクターを補助し、鉄道を利用しやすくする。
	ハイブリッド車両の導入
	電車やバスの利用を増やす。
	横浜からも安いバス便があるとうれしい。
	横浜市との直行便バスが欲しい。
	人口減少に悩む地域でも、住民の意見を聞きながら鉄道に限らない効率的な交通網を検討し、企業と協働して交通手段を存続させる。
	高山村～須坂市間の通学路線バスの増便
	足腰が悪い人のために、バス停にもう少しベンチを増やして欲しい。
	脱車のため、バス、電車運賃にガソリン税から補助を出す。
自動車に依存しない県になって欲しい。	
情報化	どの地域でもインターネットが高速で使えるようにして欲しい。
	限界集落でも光回線によるインターネット環境を整備して欲しい。
	光通信などの普及
	デジタルアーカイブの手法活用により、伝統の継承、郷土意識の定着、観光振興を実現し、もって地域振興を図る。 インターネットを用いた新しい情報発信システムを開設し、南北に長い長野県の距離の問題を解決する。

新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等
県政の推進	「行政にやってもらう」という考えを改め、「自分たちでやる」という意識改革が必要
	みんなで汗をかくことをしっかりと指導して欲しい。
	民間企業、NPO等の民間団体との相乗効果により、画期的な取り組みを。民間、NPOの支援、後押しも行政の責務である。
	複雑多様化する住民ニーズに対応すべく、行政だけでなく県民参加や協働の推進を目指す。
	行政主導でなく県民と協働する仕組みづくり
	課題解決型・政策形成型・未来志向型（研究者等ブレイン・職員集団の活用、課題の当事者・住民・異業種との協働による課題解決 地域をあげた総力戦 本当の敵は地域社会の直面する問題群）
	社会における共有領域・協働領域の拡大のしくみ・しかけづくり、住民一人ひとりができることをする「もちよりのまちづくり」
	女性・高齢者・こどものパワー 日常生活における社会にかかわる行動・社会貢献活動の意欲など、潜在的なマンパワーが発揮されるしくみづくり
	様々な分野の人々が集結し、知恵を出し合って新しい日本、県づくりを進めることが大切
	これからの長野県を良くするために、地域住民との対話集会を数多く実現すること。
	県民も権限と責任を負う参加型の社会を構築し、プチタウンミーティングを月1回各市で開催する。
	今から新しいことを考えるよりも、県民の声をしっかり聞き、県づくりや取組を考えた方がいい。
	県民が望んでいるものと、県の施策がかけ離れている。例えば、県民から相談の多い爆音機について健康被害が出ており規制が必要であるが、県は何もしていない。県民の正当な意見に迅速に対応するシステムが必要
	もっと県民目線で仕事をして頂きたい。
	県民主権の県づくりのためには、県民と同じ目線で物事を見て、情報を積極的に発信、吸収していくことが欠かせない。
	行政も民間の感覚で。
	県民が今、何を求めているかを敏感に感じ取ってください。
	統計データだけでなく、県民の実生活を見て、本当に多くの県民が恩恵を受けられる施策を行って欲しい。
	長野県を良くするために、いろんな所に書く物を置いてもらいたい。
	スリムで誰でも意見が言える県政にして欲しい。
少数の意見・提案に対しても、できるだけ親身になって考えて頂きたい。	
議員も地域の催しに入って、県民の実態を見て頂きたい。	
県議会議員一人ひとりがパソコンにより県民の意見を受け取れるようにして欲しい。	
県民に政治（選挙）への関心を持たせるため、投票した人には地域振興券を交付する。	
知事自身もメディアを使ったり、イベントに参加してもっと県民との距離を縮めて欲しい。	
理念と実践について、あらゆる場で県民に語りかけ続けるメッセージ行政	
行政が身近に感じられるように取り組む。	

県政の推進

県政の推進	長野県のホームページを「きっず」と「レギュラー」に区別して、小さな子どもでも分かりやすいように工夫をしてみる。
	県政から、おもしろさ・エンターテインメント性・知的関心の情報発信
	県民に公務員の役割を目にみえる形で示すべき。
	「広報ながのけん」の内容は、情報の一部としてみるならば、それ相応に理解できる。
	自分の住んでいる市のことだけでも、県民が知っている長野県にしたい。
	住民税はどう決められているのか、住む場所による税率の差などを定期的に公表する。
	課題を明らかにし、それによりどんな社会現象が起きるかを考え、対策として何が必要かを立案する、というように展開すれば、ストーリーして分かりやすく、現実性の高い計画ができる。
	市町村ヘムダをなくすように仕分けを行ってみてはいかが。
	各種研修内容を充実させ、国や県・市町村、NPO団体との連携を強化する。
	今回の震災では、堤防建設費を削ったために被害が大きくなった。仕分けは百害あって一利なし。中止せよ。
	財政が行き詰っていることを強く感じたので事業仕分けなどを徹底する。
	県の施策は何かピリッとしたものがなく、停滞しているように感じ、緊張感がない。
	大阪府のように長野県には全国初の企画立案がない。例えばカジノや特区をどんどん入れる。
	長野県の素晴らしさは数値が表しているが、より良い長野県になるよう、ポリシーを活かした県政を探求して欲しい。
	環境・福祉分野における先進国の良いところをもっと取り入れて欲しい。
	年少者の負担が大きくなるような対策をし、過大負担、極小サービスしか受けられないような世代をなくす。
	即効性と持続可能性を持ち合わせた政策
	地域の持続的（永続的）発展、「現世代未来世代にわたりこの地に住み続けられること」が自治体のミッション
	市町村合併の進展や高速交通網の整備により広域圏間の人やモノの流れなどが一層進み、広域圏の考え方は、現在の10広域圏から、従来から広く県民にも定着している「4信」を全面に打ち出し、県の組織の再編なども見据えながら施策を展開していくことが適当と考えられる。
	30年後の人口半減に対応した社会体制の構築に向けた計画の作成
	産業社会の要請してきた価値観・人間像（勤勉、競争、有用性、利潤追求、経済成長、商品消費の経済人モデル）から、新たな人間観に基づいた政策目標へ。
	現在の延長線上でなく、こうありたい、あるべき姿・理念・目標の設定から現在を見直すバックカスティングの手法の取り入れ
	「グローバルに考えローカルに行動せよ」自治体レベルの国際連携
行政、県職員として「きっかけ」を育む仕掛け（政策）を組織で行って欲しい。	
長野県を良くして頂きたい。	
公共施設の利用料の低額化、高齢者割引の実現を望む。	
外国人労働者からもきちんと徴収でき、職を失った人の負担も軽くなるように、住民税は現年課税でもいいのか。	
脱税ゼロ、納税率100%にして欲しい。	
今やテレビはライフラインであり、県とNHKと連携して、県で受信料の決定や徴収などをできないか。	

県政の推進	「公僕」という意識を徹底し、生産性の確立を望む。
	県も公僕たる立場で県民への奉仕の精神を持つべき。
	職員の質の向上。全体の奉仕者であることを忘れずに。
	生活者あつての行政。現場を大切にした発想による行政運営を！
	接客業などで職員の研修を行うべき。税金で成り立っている公務員の自覚を持って対応して欲しい。
	新人職員は他業（サービス業）で研修すべき。
	マナー研修を導入する等して、職員の接遇態度の向上、改善を願う。
	行政感覚では理解できない提案をしっかりと受け止め下支えする勇気と勉強をしてください。
	情報の分かりやすい発信の仕方を日々磨いていける仕組みが必要
	2～3年ごとの異動は仕事の効率を悪くし、利用する側にも迷惑なので、必要なときに必要な異動をするようにして欲しい。
	目の前の施設であれば市民は一体的に管理していると思うので、管轄が違うから知らないということがないようにして欲しい。
	費用対効果を常に優先して考え、あらゆる部署、部門に企業的発想を。
	組織のスリム化、重複する業務の見直し、横の連携強化などにより、縦割り行政を変える。
	職員全員が1年に1回、無駄だと思ふことをやめる又は見直す。
	軽費の節減に努め、借金のない県政の実現を。
	電話代、電気代、水道料、下水道料、NHK受信料等、各所属共通のものの県庁への予算執行の集中を図り、業務と経費の削減
	国や行政は、お金や効率価値を測るのではなく、人々の心・気持ちを育むやり方に変えてゆかねばならない。
	国に対してヒモつきではない交付金を強く要求して欲しい。
	甘えが強すぎる福祉充実も良いが、もう少し財政のことを考えた県政を望む。
	民間活力を結集して財政赤字をなくし健全財政に向けて前進すべき。
	県債残高を減らし、将来負担比率を改善する。
	県民主導の県政を推進するため、長野県が全国の都道府県のリーダー的な役割を果たして現在の3割自治から7割自治に大転換を図る地方自治制度づくりに取り組むべき。
	全ての権限をNPO法人に移し、長野県の地域社会のことは各市町村単位で実行できる体制を整えることが急務
	職員採用の年齢制限を撤廃し、実力のある者、民間人（特に女性）を採用する。教員は特に社会経験のある人を入れるべき。
	やる気のある職員をつくるように、管理職への登用をオープンにして欲しい。
	査定を厳しくして能力のある職員は優遇し、怠けている職員と給与で差をつけるべき。
	職員の給与が高すぎる。下げるべき。
職員の寒冷地手当他手当を減らすべき。	
職員の数を半分にし、賃金も半分にして、県のために働いて欲しい。	
県の機関や市町村の機関、議員が何をしているのかわからないので人数を削減するとともに、県民にわかるように広報して欲しい。	

県政の推進	議員の人たちは最低賃金で県民のために奉仕すべき。
	議員報酬及び政務調査費を削減して欲しい。
	議員数を減らして欲しい。
	議員は東・北・中・南信で各5人もいれば十分なので定数を減らして欲しい。
	議員の定数、給料などについて、私利私欲なく検討して欲しい。
	議員の任期を3期までとし、新しい風を入れて欲しい。
	県民の財産を守るため、前もって対策をする。
	目に見える建物、場所、形を成している物で、国の施設等であれば日の丸を、県の施設等であれば県章（県旗）を表示または掲揚し、国や県に誇りを持つようにする。
	道路・河川・砂防・公園などの社会資本（アセットマネジメント）のみならず、公共建築物や県有施設などの長寿命化計画（ファシリティマネジメント）を策定し、効率的な投資と有効活用を図る。
	庁舎修繕を管財課と施設課に集中し、専門的に対応させる。
	産業拠点、教育拠点として県有施設を維持すべき。
	県庁を移転し、松本市へ替える。
	県庁を県の中心部に移転する。
県の中央への県庁移転を強く希望する。	

新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等
基本目標	自然豊かな環境づくり
	自然第一
	環境にやさしい長野県
	技術開発優先から自然環境優先への産業構造の大転換
	(環境) 信州が誇る自然環境を活用する施策の充実
	新エネルギー導入先進県
	水、食、エネルギー
	森と水の都 ながの
	環境(水清く風薫る緑豊かな長野県)
	豊富な水と自然の長野県
	この大地とともに生きる。
	共生
	自然と共生
	自然の厳しさと美しさとの共存共生を全ての政策の原点に
	豊かな森林と共生する県
	森森(もりもり)長野!!
	循環型長野県
	自然と人がうまく共生し、人も自然も資源も循環できる長野県
	人と自然が共生する信州
	人・地域、自然、過去・未来世代との共生
	世界中が羨望するほどの自然と産業が調和した市町村が集まるNagano県
	人口減を受け入れ、環境負荷の少ない、持続可能な社会の実現
	財政・経済・エネルギー 県、国、地球レベルで持続可能な循環型社会
	E C O・健康・観光(エコ・ケンコー・カンコー)で3高(コー)の癒し空間へ
	自然と人が調和した景観の美しい県
	自然を感じる、人を感じる、両方が持つ優しさを感じる
	人・みどり豊かな長野県
	人 自然 環境 私達が生活していく事をより意識できる長野県

基本目標

基本目標	自然環境・伝統文化を活かした活気あふれる信州
	自然と芸術が調和した心豊かな長野県
	環境・景観先進県
	環境とデザイン
	地域の個性を活かした世界に向けた官民一体となった産業づくり・観光都市として世界に誇れる景観づくり・まちづくり
	産業の育成・発展による就労の確保と、子育てに適した環境の整備で、活気があり、安心して住める県土を創っていく。
	地域に合った産業づくり
	(商工労働) アジアなど新興国と県内産業の共存共栄を図る取組
	精神的なもの作りと発展
	平和を知る日本を、長野県から発信できる力強さを兼ねそなえた美しい県
	活力ある県
	元気で活気にあふれ、自然に人口(転入者)増になる町創り
	人も自然も経済も元気のある長野県
	長野県にはずっと元気であって欲しい。
	光り輝きたくましく成長する信州
	(観光) 産業横断的な連携による積極的なインバウンドの推進
	観光立県
	広域観光
	楽しい県
	来たら楽しい長野県
	楽しく、自由に、気軽に、元気に
	ゆったりと陽をあび楽しくホホエンで
	風に乗る緑の匂いはどれくらい?
	緑のキャンパスに風の旋律が流れていって
	絵になる岳(ヤマ)がある長野県へいらっしゃい!
	山岳と文化が綾を織り成し深い憧憬をかもし出す長野県
	オリンピック経験県・国際観光地としての実績を自信、行動に
	信州アイデンティティ(DNA、地域の求心力・磁力としての文化)の再認識
	道州制等の外圧に対して日本最強の地域ブランドのひとつ「信州」を守る
	信州はひとつ
	信州時間、信州型ゆっくりズム

基本目標

基本目標	みなに好きになってもらえる長野
	産業 農業 調和のとれた発展地域
	農業県長野
	農就、信州、新しゅう
	日本の原風景を今に残す里山。いのちの水と土が育む農産物。日本のたから、世界のたから ながの県
	(農政) 地産地消による県民食の開発・普及の推進
	(林務) 県産木材・間伐材の積極的な活用を推進
	(建設) 着実なインフラ整備と地域土木建設事業者の育成
	生命と健康を考えた県政
	持続可能なビジョンをもって病気の人が少ない長野県
	だれもが安心して歩ける健康な街づくり
	県民が健康で安心して生活できる県政
	健康長寿
	(健康福祉) 健康長寿の実績を後世に伝える施策の充実
	長寿
	な：長生き全国 1 が：外国人に優しい県(くに) の：伸ばす、育む県(くに)の子供(たから)
	これからの人口減に対応した県政
	子育てのしやすい長野県
	お年寄りの保護
	ユニバーサルデザイン
	長野県に住むさまざまな立場の人が暮らしやすい県
	長野のすべての世代が笑顔で過ごせる信州生活
	自分達の暮らし(税金の使い方など含め)を各年齢の代表が話し合い決めていける、先人の教えを引き継いでいける社会 20歳から70歳までの様々な年齢層の人達が協力できるような一致団結しあえるような長野県
	話し合い 参加参画 育ち合い
	助け合い
	競争社会に固執することのない、助け合いによる格差社会の是正
	人と人が触れ合える県
	絆
	人の和の象徴としての“信州双体道祖神”

基本目標

基本目標	レンタルの思想、シェア・シェアリング（分かち合い）（所有から共有、未来世代との資源や機会の共有、究極では人間自身がこの世での借り物の存在）
	つながる、つなげる、信州
	みんな仲良く暮らせる長野県
	全ての人に居場所と出番を
	人の心身にやさしく楽しく
	優しい気持ちと安心感のある長野県
	セーフティナガノ（Safety Nagano）
	全ての地域の県民が安心して暮らせる県づくり
	安全・安心
	安全・安心な県
	「安全・安心な未来」将来に対して安全・安心な展望を抱ける県
	安心安全を県民に自信を持って言える長野県
	安全・安心な楽しい信州
	安全・安心な災害のない県土づくり
	災害に強く、安心・安全な県
	災害に強い長野県
	（危機管理）災害に臨機応変に対応できる安全安心な体制づくり
	（教育）ふるさとを大切にする教育の推進
	教育県、観光県
	教育、人作り
	次世代を担う多彩な人材育成
	次世代を育てる県づくり
	次世代を担う子どもたちが、今も、そして未来でも生き生きと暮らせる社会づくり
	子どもたちが輝く長野県
	世界中を「子ども大人」でいっぱいにする。
	人は宝
	長野県民独特の豊かさ
	人も自然もかわらない 全て想いやる ココロ豊かな長野県
	県民全員が心豊かで、1日1回感動する
	経済的にも精神的にも豊かさのある県
県民生活を物・心バランス良く豊かにすること	

基本目標

基本目標	経済的な豊かさから精神的な豊かさへの発想の転換
	貧しくても心の豊かさを求めて生きてきた信州人の原点への回帰
	贅沢をしない・させない信州人の自立心
	生きがい・楽しさ・つながり ものを産み出す国 長野県
	杓子定規ではない生き方、バリエーションのある生き方ができる長野県
	遊び、楽しみ、学び、皆で祝祭する、自分の本当にやりたいことを見つけられる信州の良さを住民自ら享受する暮らし方
	今を生きる長野
	ゆったりと散歩したり、子供と戯れることができる豊かな社会
	ゆとりのある県
	人々の憩う場所作り
	歴史・文化は知恵の宝庫、日本文化・信州の文化の奥深さを学ぶ
	おらが村の誇り、おらが町の伝統、おらが市の自慢。子々孫々まで守り伝えたい、長野県のたから
	志高く 長野県
	県民が誇りに思える長野県
	文化的で誇りのもてる長野県づくり
	文化関係なく人・自然が笑顔の長野県
	本県の独自・多様な文化の発信
	長い年月の中で培われてきた信州モデルの発信
	「多様にしてひとつ」文化多様性の信州は世界の縮図
	ウィンタースポーツの長野県
	(佐久) 地域医療、リゾート
	(上小) 信州の鎌倉、「日本一の兵」真田の魂、蚕都、非戦の思想
	(諏訪) 縄文・諏訪信仰と自治反骨の御柱パワー、ものづくりDNA
	(上伊那) 共同の精神(地域営農)、直売所の思想、途上国支援
	(下伊那) 「結い」の伝統、公民館活動、まちづくりの先進地・実験地
	(木曾) 森林との共生、文化の通う路中山道、山岳信仰(六根清浄)
	(松本) 民芸の思想、学都、岳都(アルピニズム) 楽都(音楽演劇芸術)
	(北安曇) 山岳に抱かれた暮らし、こどもを育む文化(山村留学・ちひろ他)
	(長野) わが国庶民信仰の聖地、オリンピックの経験と精神の財産
	(北信) 日本のふるさと像、「阿弥陀堂だより」の世界、農村文明の発信
	地域の力は日本を支える。目指せ信州!!日本一の地域力!!

基本目標

基本目標	今こそ団結!!信州の底力を見せる時!!
	地方の団結力や協調性
	ともに生きよう信州～信州発共生創造の地域づくり
	共創協働 - 県民の力を引きだせる県政 -
	共創
	様々な壁を乗り越えて、県民が全員で共感し協働で創る。県民の底力で創る
	県民主権。未来に向けて困難なことにも挑戦していく
	私達！が創る。これからの長野県
	ウイ・メイク・信州（私たちが地域社会をつくる サービスの消費者だけでなく、地域社会への主体的な参加関わり・コミットメント・つながり）
	外の力を借りなくてもある程度自活でき、独自の文化を育む「孤高のガラパゴス」
	「自活」と「対応力」
	都市と地方、農山村の共生
	県土が均衡して発展した県
	均衡ある県土の発展
	（企画）交通政策の充実による県内（南北）交流の拡大
	東西中南信の相互交流・融和・連携協力・一体化による“信州力”の発揮
	北高南低を無くす。
	北信東信に住む人達も南信へ、ずくを出して出掛ける。
	若者定住促進県
	若者も住みたいと思う県
	最も住みたい県
	爆音器のない、暮らしやすく、文化的な長野県
	住みやすい信州
	ここに住めて良かったと思う長野県
	「長野に生まれ、育ち、生きたい」そう思える社会づくり
	信州を売り込む、暮らし・生き方の魅力を知ってもらう
	スローライフ
	道路交通網が整備されたきれいですてきな長野県
	社会資本整備のパラダイムシフト
	「造るから守る」へ、あるいは「造るから創る」へ
	”日本の中心”、”日本の活性化”につながる県

基本目標

基本目標	全国の目標となる長野県
	こころ ときめく 長野県 県民・国民がときめく県政
	長野県を輝かせよう。
	秒針が進んでゆく、長針が歩いてゆく、長野が短針のように大きく動く
	拍動する、鼓動する長野県 響いてくる、地から空から人から
	東日本大震災後の復興、成長を主導する長野県
	年輪経営
	持続可能な発展、50年、100年後先を考えた施策
	現在・現世代の成長・利潤極大化から、過去から未来世代までを見据えた長期的な利益の視点
	長期的な社会構造のあり方を睨んだうえでの、ゆるやかな変革を。未来の姿を描いて、県民一人ひとりが近づく努力を。
	” next future ” ” Shinshu ! ”
	未来の正義にむかう長野県
	未来を語る 夢見る長野県
	みんなで育む未来のある長野県
	” きっかけ ” のある長野県